

東京春祭を楽しむ(28)

—ライブ配信(28)—

1. 始めに

[Web 情報紹介【2022No.40】](#)で紹介した東京春祭 22 の4月度プログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、東京春祭の柴田俊幸（フラウト・トラヴェルソ） & アンソニー・ロマニウク（チェンバロ／フォルテピアノ）の演奏を視聴しました。



2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B

プログラムは次のとおりです。

柴田俊幸（フラウト・トラヴェルソ） & アンソニー・ロマニウク（チェンバロ／フォルテピアノ）

日時・会場

2022/4/18 [月] 19:00 開演 [18:30 配信開始]

東京文化会館 小ホール

出演

フラウト・トラヴェルソ：柴田俊幸

チェンバロ／フォルテピアノ：アンソニー・ロマニウク

曲目

A.ロマニウク＝柴田俊幸：サラバンドによるファンタジア（J.S バッハ《無伴奏フルートのためのパルティータ BWV1013》サラバンドにもとづく）

即興（鍵盤楽器独奏）

J.S.バッハ：イギリス組曲 第6番 BWV811 より ガヴオット I/II

即興（フルート独奏）

P.グラス：ファサード

即興（鍵盤楽器独奏）

J.S.バッハ：フルート・ソナタ ロ短調 BWV1030

I. Andante

II. Largo e dolce

III. Presto

～ 休憩 ～

C.コリア：チルドレンズ・ソング より 第1曲

J.S.バッハ：イギリス組曲 第2番 BWV807 より 前奏曲

G.クルターグ：J.S.B.へのオマージュ

作者不詳：フルートフーセ写本 II.108 より ロンドー形式のミュゼット 即興の前奏曲付き

C.コリア：チルドレンズ・ソング より 第4曲

即興（鍵盤楽器独奏）

C.Ph.E.バッハ：フルート・ソナタ ニ長調 Wq.129

I. Adagio

II. Allegro

III. Vivace

即興（フルート独奏）

G.リゲティ：ハンガリアン・ロック

J.S.バッハ：フルート・ソナタ ホ短調 BWV1034

I. Adagio ma non tanto

II. Allegro

III. Andante

IV. Allegro



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

フラウト・トラヴェルソとチェンバロ、フォルテピアノおよび電子鍵盤楽器とのデュオおよびソロの演奏です。演奏曲目は当日変更が告知されました。

最初は、フラウト・トラヴェルソとフォルテピアノの演奏でしたが、音がでませんでした。次のチェンバロ独奏の途中から音が出ました。

さらにフラウト・トラヴェルソとフォルテピアノの演奏となりましたが、音量設定やミキシングの状態が悪く、まともな音になったのは、演奏開始後 30 分を過ぎたことからでした。

休憩を挟んでの後半は、電子鍵盤楽器の演奏から始まり、フラウト・トラヴェルソと電子鍵盤楽器の演奏に続いてフォルテピアノの演奏、フラウト・トラヴェルソとフォルテピアノの演奏などが続きました。後半は音質的にも持ち直してきました。

バロックから現代曲やジャズ風の曲まで、楽器を替えての多様なジャンルの曲の演奏でしたが、意欲的なプログラムを配信トラブルやマイクミキシングで十分に捉えられていなかったことは残念です。





4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができました。音が出ないトラブルやミキシングの拙さがあったり興ざめのところがありましたが、途中から古楽器の質感がでてきました。なお、本イベントの裏方の事情が下記に記載されています。配信のシステムや課金の低価格化のためのコスト削減努力の経緯が分かります。

<https://www.phileweb.com/news/d-av/202204/07/55094.html>

以上

【追記】

その後、上記記載に関して、配信不具合のお詫びと再配信のご案内 [4/18 (月) 公演] と題するメールが届き、音声のみのアーカイブ配信があり試聴しました。

■配信日程

2022年4月21日(木) 12:00~2022年4月28日(木) 12:00

■配信サイト

以下 URL または東京春祭アプリより、ご購入した際のアカウトでログインし、対

象の公演を選択してご視聴ください。

<https://www.harusaalive.jp>

■配信方式

音声のみの配信

音声のみの配信とありましたが、静止画が切り替わっていきました。



音質は、当日より改善されており、フラウト・トラヴェルソは、ふくよかな音色が聴き取れ、チェンバロ、フォルテピアノおよび電子鍵盤楽器もそれぞれの質感が十分に捉えられていました。

さらに、「東京・春・音楽祭 2022」閉幕と題したメールも届き、フォトギャラリーやアンコール曲の紹介などがありました。